



2024年11月12日

各位

会社名 株式会社 スズケン  
代表者名 代表取締役社長 浅野 茂  
(コード番号 9987 東証プライム市場、名証プライム市場、札証)  
問合せ先 執行役員グループ企画本部長 山本 裕一  
(TEL. 052-961-2331)

## 2025年3月期第2四半期(中間期)累計期間連結業績予想値と実績値との差異および 2025年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社が2024年5月14日に公表しました連結業績予想値について、2025年3月期第2四半期(中間期)累計期間の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日(2024年11月12日)開催の取締役会において、2025年3月期通期連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### I. 2025年3月期第2四半期(中間期)累計期間 連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 2025年3月期第2四半期(中間期)累計期間 連結業績予想値と実績値との差異  
(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,179,600	百万円 12,000	百万円 13,200	百万円 17,700	円 銭 227.97
実績値(B)	1,197,323	17,101	17,009	20,278	261.16
増減額(B-A)	17,723	5,101	3,809	2,578	
増減率(%)	1.5	42.5	28.9	14.6	
【ご参考】前期中間実績 (2024年3月期第2四半期)	1,194,472	16,566	18,199	15,884	191.98

### (2) 差異の理由

当第2四半期(中間期)累計期間の売上高については、抗悪性腫瘍剤の市場拡大やスペシャリティ医薬品等の新薬が寄与したことに加え、新型コロナウイルス関連商材(治療薬・診断薬その他)売上高が、前年同期よりも落ち込んだものの、当社想定よりも上振れたことなどにより前回発表予想を上回ることとなりました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益については、増収効果に加えて、2024年4月に改訂された流通改善ガイドラインへの取り組みおよび、物流委託費をはじめ、医薬品流通に係る様々なコストが高ぶれる状況下においても、引き続き販管費の見直しと抑制に取り組んだことにより、それぞれ前回発表予想を上回ることとなりました。

## II. 2025年3月期通期連結業績予想の修正について

### (1) 通期連結業績予想の修正

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,373,000	百万円 28,500	百万円 31,000	百万円 30,000	円 銭 386.40
今回修正予想 (B)	2,391,000	33,600	34,300	33,300	428.80*
増減額 (B-A)	18,000	5,100	3,300	3,300	
増減率 (%)	0.8	17.9	10.6	11.0	
【ご参考】前期実績 (2024年3月期 通期)	2,386,493	34,875	38,351	29,016	357.88

\*今回修正予想 (B) の「1株当たり当期純利益」については、本日別途公表いたしました

「自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に関するお知らせ」に基づく自己株式取得の影響を考慮しておりません

### (2) 修正の理由

当第2四半期 (中間期) 累計期間までの実績等を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想を上回る見込みです。

第3四半期以降については、新型コロナウイルス関連商材 (治療薬・診断薬その他) の見通し、世界的なインフレの進行による原材料価格の高騰に伴う商品価格の値上げや各種経費増など、依然として不透明な要素が多いことから、第2四半期 (中間期) 累計期間実績の差異相当に加えて、政策保有株式 (投資有価証券) の縮減に引き続き取り組むことなどを踏まえ、通期業績予想に反映するものです。

※ 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上